

東京都で唯一の手すき和紙、軍道紙のドキュメンタリー映画「手すき和紙 軍道紙」が、完成しました。

あきる野市企画政策部市長公室が企画し、平成30年8月から撮影を開始しましたドキュメンタリー映画「手すき和紙 軍道紙」(上映時間20分)が、この程完成しました。

軍道紙は、江戸時代より前からあきる野市乙津軍道地区で、すかれている手すき和紙です。かつて大量生産の波に押され一度は途絶えてしまった軍道紙ですが、現在復活をし、今では東京でただひとつの手すき和紙として、東京都無形文化財に指定されています。

作品データ

ナレーター	遠藤久美子
企画・製作	あきる野市市長公室
制作	あきる野市シティプロモーション
制作期間	8か月
完成	平成31年3月
上映時間	20分

作品内容 軍道紙の原料である楮(こうぞ)の刈り取りからはじまり、ひとつひとつ手作業の積み重ねによる紙すきの工程を追い、さらに文化財である旧市倉家住宅の障子に使われている様子などが描かれています。

「手すき和紙 軍道紙」は、あきる野フィルムコミッションのYouTubeチャンネルで視聴できます。 <https://youtu.be/NNg2mWjurHU>

